

2026年3月18日

記者各位

京セラインダストリアルツールズ株式会社

**金属加工の現場課題を解決する「Lシリーズ」に新モデルが登場
ディスクグラインダー「LG1250」
ストレートグラインダー「LSG6000H」を発売
小型・高出力設計により、作業の効率化と高品質化を両立**

京セラインダストリアルツールズ株式会社（代表取締役社長：和田 康男）は、金属加工の現場のニーズに応えたツールとしてご好評をいただいている「リンクコントロールシリーズ（Lシリーズ）」より、ディスクグラインダー「LG1250」およびストレートグラインダー「LSG6000H」を、2026年3月18日（水）より発売しますので、お知らせいたします。



ディスクグラインダー
LG1250



ストレートグラインダー
LSG6000H

Lシリーズは、金属加工業の生産性向上に貢献する新たなツールとして高い評価を得ています。ブラシレスモーターの制御回路を工具本体から切り離し、コントローラーに集約することで、「コントローラー」「脱着ケーブル」「工具」の3ユニット構成を実現しました。この独自構造により、従来の高周波工具、電動工具、エアーツールが抱えていた「重さ・大きさ」の課題を解消するとともに、高出力化を実現した次世代ツールです。

今回、新たに2モデルをラインアップに追加しました。砥石径125mmのディスクグラインダー「LG1250」は、重研削作業を行うユーザーをターゲットとしたモデルで、高周波工具に匹敵するパワーを備えながら、軽量化とコンパクト化を実現しており、細部の重研削作業に適しています。一方、ストレートグラインダーは、砥石が長い軸の先端にある構造により、狭所や奥まった場所、円筒形の研削・研磨加工に使用される工具です。新商品の「LSG6000H」は、低速回転・高トルク設計を採用することで、既存モデルと比較して、粘り強い研削性能を実現。これにより、削りムラの発生を抑制し、高精度な仕上げを可能にしました。

新モデルの発売により対応範囲がさらに広がったLシリーズは、現場の作業スピードと仕上の精度を向上させ、業務効率化に大きく貢献します。

当社は、今後もLシリーズのラインアップを拡充し、金属加工業の現場が抱えるさまざまな課題に即したソリューションを提供することで、お客さまのさらなる生産性向上に貢献してまいります。

■ ディスクグラインダー「LG1250」の特長

コンパクトなボディに高周波工具に匹敵する重研削性能を提供

最大出力 1,600W のパワーを備え、L シリーズの既存大径砥石モデル（180mm）では作業が困難であった細部の重研削作業に対応したモデルです。



■ ストレートグラインダー「LSG6000H」の特長

高トルク設計により、均一で高精度な研削を実現

L シリーズの既存ストレートグラインダーを低速回転・高トルク化することで、粘り強い研削性能を実現しました。削りムラを抑えた高精度な仕上げを可能にしたモデルです。



■ L シリーズ(共通)の特長

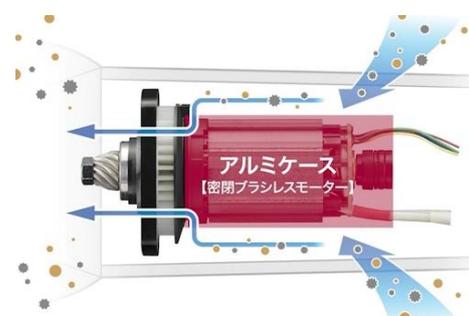
① 小型・軽量化と高出力化の両立

「コントローラー」「脱着ケーブル」「工具」の3ユニット化により、従来比 30～50%の小型・軽量化を実現しました。さらに、設計を最適化することで、優れた操作性と高周波工具に匹敵するパワーを両立しています。



② 過酷な現場を支える、タフな密閉ブラシレスモーター

設計から製造まで自社で一貫して手がけた密閉ブラシレスモーターを採用。アルミケースで覆った二重構造により、鉄粉から内部を保護し故障のリスクを低減します。過酷な環境下でも安定した稼働を支え、工場の生産性向上に貢献します。



■ 製品仕様

モデル	握り径	砥石径	回転数	サイズ (長さ×幅×高さ)	質量	希望 小売価格
LG1250	54mm	125mm	3,000～ 10,000min ⁻¹	263×141×93mm	1.6kg	45,800 円 (税別)
LSG6000H	54mm	49mm	4,000～ 13,000min ⁻¹	385×68×82mm	1.5kg	57,200 円 (税別)

Lシリーズの商品特長や各モデルの仕様は、以下の特設サイト（URL）に掲載しています。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/l-series/>


■ お客様からのお問い合わせ

京セラインダストリアルツールズ株式会社（お客さまサポート）
ナビダイヤル：0570-666-787

■ 報道機関からのお問い合わせ

京セラインダストリアルツールズ株式会社（広報担当：田辺）
Mail：yuka.tanabe.nf@kyocera-industrial.jp